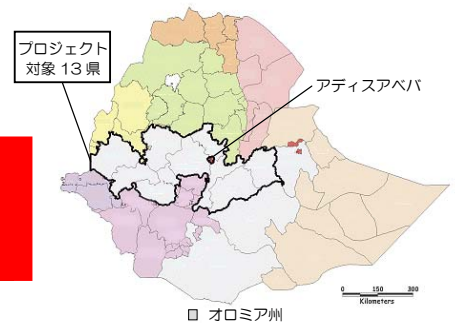




Ho! ManaBUしんぶん

子どもの笑顔に会うために！

2011.11.4 No.36

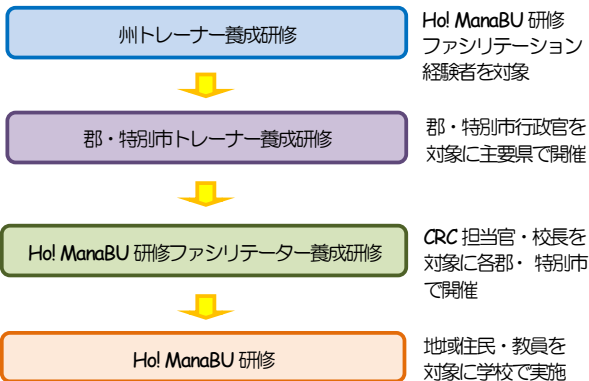


OEB 主体計画の第一歩がスタート！

～「州トレーナー養成研修」開催～

しんぶん 35 号でもお伝えしたとおり、オロミア州教育局 (OEB) が Ho! ManaBU 研修を全州に普及させる計画、OEB 主体計画の準備が着々と進んでいます。本計画で配布予定の教材も準備ができ、いよいよオロミア州全土に Ho! ManaBU 研修を普及させるためのトレーナー養成研修 (TOT) を始める段階に入りました。OEB 主体計画では、州レベル、郡・特別市レベルでの段階的なカスケード研修を通じての Ho! ManaBU 研修普及を考えています。(下図参照)

カスケード式トレーナー養成システム



現在、郡・特別市の行政官を対象とした「郡・特別市トレーナー養成研修」の準備を OEB と共に進めていますが、その前段階として、「郡・特別市トレーナー養成研修」を担当する州トレーナーの育成支援のため、「州トレーナー養成研修」を 10 月 25 日～27 日の 3 日間にわたり、首都アジスアベバの赤十字研修センターで開催しました。

本研修の目的は、参加者が州トレーナーとして「郡・特別市トレーナー養成研修」を実施できるよう、Ho! ManaBU 研修及び OEB 主体計画の概要を理解し、2 つの Ho! ManaBU 研修 (「中途退学」及び「女子教育」) のファシリテーションスキルを習得することです。研修には、プロジェクト対象 13 県から、県教育事務所の Ho! ManaBU プロジェクト担当者、実際に学校で Ho! ManaBU 研修を実施し、実績のあるクラスター・リソース・センター (CRC) 担当官及び校長 (各県から

最低 1 名を選出) が参加しました。また、OEB 主体計画では、全県で Ho! ManaBU 研修を展開することから、プロジェクト非対象地域の 4 県 (ボレナ県、ハレ県、東ハレルゲ県、グジ県) とオロミア特別県 (アジスアベバに隣接する県にある郡のうちアジスアベバ周辺の郡をまとめて新たに管轄) の県教育事務所からも 1 名担当者が参加し、合計 56 名 (うち女性 4 名) が州トレーナー候補者として 3 日間の研修を受けました。

州トレーナー養成研修プログラム

1 日	<ul style="list-style-type: none"> 開会の辞 Ho! ManaBU の活動、OEB 主体計画についての概要説明 Ho! ManaBU 研修「中途退学」の実習と研修マニュアル説明
2 日	<ul style="list-style-type: none"> 「郡/特別市トレーナー養成研修」の実施手順の説明 Ho! ManaBU 研修「女子教育」の実習と研修マニュアル説明 「郡/特別市トレーナー養成研修」の予行練習
3 日	<ul style="list-style-type: none"> 「郡/特別市トレーナー養成研修」の予行練習 OEB からの総評 ジャケット・授受与式

州トレーナーが担当する「郡・特別市トレーナー養成研修」は、70～80 名の郡・特別市行政官を対象とした 1 日研修で、プログラムは、Ho! ManaBU や OEB 主体計画についての概要説明、「中途退学」と「女子教育」の研修方法と盛りだくさんです。そこで、本研修では、Ho! ManaBU 研修や OEB 主体計画の内容理解や、研修ファシリテーションの説明能力の向上だけでなく、大人数の参加者をうまく仕切るための各セッションの時間配分やプログラムの時間管理についても参加者の意識を高めらるよう注意を促しました。時には、声が小さくて聞こえない参加者に対して、「トレーナーは声が小さいと務まりませんよー！もっと声を上げて！」とスパルタ教官ハウィ(五十嵐)からの湯が入り、州トレーナーとしての基本を研修を通して伝えました。



56 名の参加者中女性 4 名。女子教育の啓発研修は、県や郡教育事務所にも必要かも？

今回の研修では、Ho! ManaBU 研修を何回も学校で行っている参加者から、実際に研修を行なう際の留意点や、日当などを払うことなく、地域住民が研修に

*Ho! はオロモ語で Hoggansa (運営) の最初の二文字、ManaBU は Mana Barnoota Ummataa (コミュニティの学び舎) の略で、本プロジェクトが支援する地域社会に根ざした小学校運営のことです。

参加できるようにする（これがなかなか難しい！）ための工夫例などが紹介され、現場レベルでの声を反映した参加型のよい研修となりました。

このように Ho! ManaBU 研修経験者間での経験共有ができた一方、プロジェクト非対象 4 県及びオロミア特別県は、Ho! ManaBU についての知識がまったくなく、ゼロからのスタートとなるため、研修についていけるかどうか少し心配していました。しかし、初参加だからこそ、これらの県の参加者にはとても新鮮だったようで、3 日間を通じて大変熱心に研修に参加していました。研修最終日の予行練習では、非対象県のバシ県教育事務所の参加者が、「私がやります！」とファシリテーターに立候補、もうひとつの非対象県である東ハレルグ県教育事務所の担当者も中途退学の研修で見事な研修進行ぶりを見せてくれました。このような初参加者の熱心さや予想以上の習得ぶりを見て、今後の OEB 主体計画の展開に手ごたえを感じました。



ハシ県からの女性参加者（上）。見事なファシリテーションを見せてくれた東ハレルグ県参加者（下）。

また、今回の研修には OEB から計画課課長ガブレミハエル・アボンサ氏、副局長代行兼任・認証評価課長アセギッド・ソーリ氏、カリキュラム課エキスパート、ユソフ・モハマッド氏の3名が3日間を通じて参加し、



OEB のプレゼンスは参加者にとっても励みになりました。（上から）ガブレミハエル氏、ユソフ氏、参加者の質問に答えるアセギッド氏（右端）。

研修の様子を視察するとともに、参加者からの質問に答えたり、もつれる議論の整理をしたりと、OEB ならではの役割を担ってくれました。このような OEB のプレゼンスにより、県や郡、学校からの参加者たちも、「OEB 主体計画」がプロジェクトではなく、OEB によって行われるのだということを強く認識し、また OEB も、参加者の熱意を見て、何とか OEB 主体計画を実現したいとの気持ちを一層強くしたと思います。

とは言え、OEB が率先して自主的に進めていくには、まだまだ時間がかかります。プロジェクトでは引き続き、OEB との協働作業を通じて、OEB 主体計画の実現を支援したいと思っています。



研修最終日に、州トレーナー認定の証としての Ho! ManaBU ジャケットが OEB から参加者に授与され、皆、大喜びでした。

着任しました！

～ モニタリング体制強化短期専門家着任～

はじめまして。10 月 31 日にモニタリング体制強化担当で着任した短期専門家の加藤泰彦です。怒濤のようなプロジェクト活動の流れに、途中から突然落下傘のように降りてきた私、着地した途端に流れに巻き込まれ、足をすべらせ目が回り、いきなりここは誰？わたしはどこ？という感じです。着任したその日にいきなり栄えある Ho! ManaBU しんぶん自己紹介記事をお願いされるのですから、活動の勢いと言うものが伝わってきます。早速、オロミア州教育局（OEB）のダハ局長に表敬した際に、チャラ（「Chala」：素晴らしい人）というオロモ名をいただきました。私の役目は専門家チームのみなさんと、ローカルコンサルタントと共同して、11 月中旬からの Ho! ManaBU 研修モニタリングのトライアルを通じてのツール開発、12 月下旬からの開発ツールを使ってのモニタリング本格実施を通じて、今後も OEB がモニタリングを持続的に続けていけるよう体制強化のための技術移転を行うことです。これを来年 2 月末までの派遣期間のべ 3 か月弱で実施します。なんとと言っても広いオロミア州で対象機関も多いので、ローカルコンサルタントとの協働、彼らの進捗・品質管理が一番の鍵となりそうです。さて、私はここ 10 年、東南アジアでのプロジェクト活動が長くて、アフリカはケニア、マダガスカル、アンゴラで活動したことはありますが、エチオピアは初のお目見えで、ともあれ久しぶりのアフリカです。何も不自由がなかった東南アジアに比べると、IT 環境に限っても今もここは何かと大変ですね。インターネットは、いちおう LAN は使えるけどダイヤルアップ時代を思い出させる遅さ。今はやりのクラウドなんて夢のまた夢です。携帯電話の SIM も煩雑な書類を書い

*Ho! はオロモ語で Hoggansa（運営）の最初の二文字、ManaBU は Mana Barnoota Ummataa（コミュニティの学び舎）の略で、本プロジェクトが支援する地や社会に根ざした小学校運営のことです。

て電話局で並んでやっと手に入れるという状態で、10 数年前に戻った感じです。次号のしんぶんでは、いっばしの事を書けるよう頑張りますので、応援よろしくお願いします。

Ho!ManaBU 学校訪問記

～ ジブチ隊員 3 名がプロジェクト対象校を訪問！～

10月7日、ジブチからエチオピアを訪問されていた青年海外協力隊の3名(玉井誠子さん、広田香織さん、柿沼久美子さん)がHo! ManaBUが支援する北ショア県デガム郡のガングシャノ学校を訪問しました。ジブチ3人組が寄せてくださったHo! ManaBU 学校訪問記をご紹介します。

村落開発普及 21 年度 3 次隊
玉井 誠子

今回ご縁があって Ho! ManaBU Project で支援している北ショア県デガム郡ガングシャノ小学校を視察させて頂きました。各教室を回った際、少し年齢層の高い小学生(未就学だった子や中途退学から復帰した子等)を見て、このプロジェクトの成果を目の当たりにしました。また先生方の温かい手作りの教材を見せて頂いたり、物資がない中で最高のおもてなしを受け、嬉しい気持ちでいっぱいになりました。学校訪問の後、アディスアベバのプロジェクト事務所に立ち寄りさせていただきましたが、事務所で拝見した教材も目を引かれる物が多く、特に参加型のすごろくはリアルな問題を多々盛り込んであるので人々の教育に対する意識改革にかなり効果的だと感じました。短い滞在でしたが、エチオピアの教育現場やそれを取り巻く問題及び取り組みについて知ることができ、有意義な時間を過ごすことができました。本当にありがとうございました。

植林 22 年度 1 次隊
広田 香織

首都から Ho! ManaBU プロジェクトが入ったある村の小学校へ向かう道中も、緑が多い印象を受けていたのですが、さらに校庭には緑のほかに花が植えてあり、自然が大切にされている、また清掃されていて学校自体がきれいに保たれているといった印象を受けました。驚いたのは、びんの蓋を使って数を視覚で学べるような教材があったり、模造紙に書かれた地図など手作りの教材がたくさんあり、身近なものやお金がかからないよう工夫して作られた教材があったことです。また、学校の先生たちと Ho! ManaBU のスタッフが近況や困ったことなどを話している様子を見て、お互いが学校をよりよくしていこうとする姿勢を垣間見ること

ことができました。この地域では小学校を終えると近くの工場へ働きに行ったり、首都へ出稼ぎに行ったりする子もいるそうです。校庭で無邪気に遊んでいる子供たちを見て、学校というコミュニティが子供たちにもたらす影響を感じましたし、多くの子供たちの可能性を広げる場になっていったらいいなと思いました。



(写真提供：玉井誠子さん)

村落開発普及 22 年度 2 次隊
柿沼 久美子

以前 ManaBU の学校を訪問させていただいてから 4 年。今回は、Ho! ManaBU の学校訪問の機会をいただきました。今回の訪問を通して感じたことは「就学率は女の子だけの問題ではないの?」ということです。訪問した Ho! ManaBU の学校は、校長先生が中途退学に関する研修を行った学校でした。ここで驚いたことは、仕事のため男の子の就学率・中途退学が多いということです。就学率の問題は女子に多くあると思っていたのですが、首都に近い学校や近くに就労の場がある場合は、男の子が仕事のために学校に来ないという問題があることを知りました。そして研修の効果なのか、この学校では少し年齢層が高く見える生徒を数多く目にしました。現場に行ってみないと、話を聞かないとわからないことがたくさんあると感じた訪問でした。私は現在 JOCV として活動しています。住民を巻き込み、維持するためにできるヒントを沢山いただいた訪問でした。貴重な機会をありがとうございました。

<余談> 今回、エチオピアを訪れたジブチ 3 人組、もともとニジェル隊員でしたが、同国の政情不安のため、ジブチに振り替え赴任になり、今回、憧れの(?)エチオピアへの任国外旅行が実現したとのこと。また、柿沼さんは、ODA 民間モニターのメンバーとして、2007 年 7 月にエチオピアを訪問し、ManaBU (住民参加型基礎教育改善プロジェクト) の学校を視察。この時の経験や ManaBU を取り巻く人々との出会いがきっかけで隊員になったそうです。訪問記 ありがとうございました!